

令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施 設 名	豊中市立環境交流センター
所 管 部 (局) 課	環境部ゼロカーボンシティ推進課
指 定 管 理 者	NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 2 1

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1	基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか 市の施策全般を理解し協力しているか 地方自治法等の関連法令を遵守しているか 施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか	指定管理基本協定書に基づき、活動のための交流の場や情報の提供を行うなど、施設の設置目的に沿った運営や事業が実施されている。また、市の環境基本計画と両輪をなす「豊中アジェンダ 21」の推進に当たり、市民・事業者・NPO・行政と連携を図り、積極的に取り組む姿勢は評価できる。引き続き、市との連携を図りながら、適切な業務の執行に努めてもらいたい。	B
2	サービス水準・施設効用の発揮	来館者数 稼働率 施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか 利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか 使用許可の判断等を公平公正に行っているか 安定して確実に日常業務を遂行しているか	最高評価サービス水準値； 確保すべきサービス水準値； 実績値； 18,000 人 12,000 人 15,763 人 最高評価サービス水準値； 確保すべきサービス水準値； 実績値； 66% 44% 69.6% 利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響も受けながらも、感染症対策をして制限付きで創意工夫をした事業をすることで、確保すべきサービス水準値を上回っており評価できる。稼働率は、最高評価サービス水準値を上回ることができている。 来館者が安全かつ快適に施設を利用できるように、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に努めるとともに、適切な施設の管理、利用者・従事者の安全管理や緊急時の対応マニュアルを整備するなどして、安全確保に努めている。事業展開としては、SNS は体制を強化し、積極的にイベントの告知などを投稿し、センターの情	A

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		創意工夫ある独自企画事業を展開しているか	報を周知している。また、親子ぐるぐるフェスのように、若い世代への環境活動の広がりを視野に入れた事業も実施している。 また、リユースバザーのような市民参加の取り組みや、自然観察会やびったんこ隊mini などセンター外での取り組みを行うとともに、南桜家校区地域連絡協議会への参加を継続することで、市民や市内の団体、施設周辺地域とのつながりをさらに深めている。 引き続き、環境に関心を持つきっかけづくりや、さらに視野が広がるような魅力のある事業の実施、また訪れたいと思えるような仕掛けを工夫するなどして、環境活動に関心がある市民はもとより、環境に関心のない市民や近隣にお住まいの方が気軽に立ち寄ることのできる、地域に愛される施設づくりに努めてもらいたい。	
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	収益がマイナスになっているものの、一定の資金（正味財産 569 万円）を保有していることから、財政状況は安定しているといえる。引き続き事業収入の増加など自主財源の確保に向けた取り組みが求められる。	B
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か 地域の市民との関係は良好か	来館者アンケートからは、スタッフの接客態度については、「いつも丁寧に対応してもらっている」、「気持ちが良いあいさつ」など、肯定的な感想が多く、否定的な感想はないことから、スタッフの対応は概ね良好であると評価できる。 また、主催事業も「SDGs に積極的に取り組まれている」、「親子で楽しめてうれしい」など、肯定的な回答が多いことから、利用者にとって魅力のあるものになっていると評価できる。 施設利用についても、否定的な回答は少なく、概ね良好であると評価できる。 一方で、「イベントを増やしてほしい」、「申し込み方法がわかりにくい」、「イベントの申し込みが来場しないとできない時がある」などの意見があり、改善を検討しなければならない。 地域の市民との交流については、地域や幅広い世代と連携した事業の実施など、これまでの成果を引き続き推進されることが期待される。	B
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか	職員が自主的に受講する研修や、職員が講師となるための知識や技能を伝達するための研修を実施するなど、従業員のスキルアップが図られている。 また、従業員の面談を行うことで、個々に対して効果的な人材育成に努めている。 従業員のワークライフバランスを図るための各種休暇制度、育児休業制度及び介護	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	休業制度等を整備されており、従業員の働きがいや働きやすさに配慮した職場環境作りに努めている。 従業員の安全管理についても安全管理マニュアルに沿って、適切に行われている。	
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	個人情報保護管理責任者を設置し、また、情報セキュリティ体制を構築することで適切に事業運用を行っている。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	緊急時の対応等を記載したマニュアルを作成し、危機管理体制を整備している。また、定期的に消防訓練を実施するなど危機意識の向上に努めている。 新型コロナウイルス感染症に関する対応についても、施設運営および行事における感染予防対策が実施されている。	B
8	その他	その他、条例等から必要と判断される評価事項	—	—
	総合評価		2022 年度は、施設の臨時休館や行事の中止などはなかったものの、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、創意工夫により施設の運営や事業を実施することで、来館者数および稼働率は確保するべきサービス水準値を上回っている。 また、SNS を活用した情報発信などデジタル手法を取り入れ、積極的に環境交流センターの情報を周知している。 アンケートでの自由記述に肯定的な意見が多く、来館者のニーズに応える事業の企画や施設の運用など、管理運営状況は良好であると評価できる。 今後も引き続き、内容の充実を図りながら、誰もが来館しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、環境交流センターを拠点とした活動の展開を図ってもらいたい。	B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
 B ; 問題のない管理運営状況である
 C ; 改善を要する管理運営状況である